

ほ し っ 北斗に継なげ

上磯中学校教育目標

☆考える生徒 ☆心の豊かな生徒
☆根気づよい生徒 ☆健康な生徒

上磯中学校通信 令和7年10月31日(金)発行

「爽やかな秋に」

北斗市立上磯中学校長 大友 貴代

学校では、数年前から6月から9月を「熱中症対策期間」として位置づけ、暑さ対策を行ってきました。この期間は、環境省が発表する暑さ指数(WBGT)と毎日にらめっこの日々でしたが、何とか大きな事故もなくこうして涼しい秋の季節を迎えることができ、ほっとしているところです。そして、夜遅くまで業者の方が作業をしてくださっていた「エアコン」の試運転を、10月21日に行いました。次年度から本格的に使用可能となりましたので、この紙面をお借りしご報告させていただきます。

さて、秋には「〇〇の秋」という表現がよく使われます。この〇〇に入る言葉は人それぞれと思いますが、爽やかで過ごしやすい今の時期に、「暑い、暑い」とうなされた心と体をゆったりと休ませるのも大事なことです。そして、ややしばらくこの爽やかな季節こそ長く続いてもらって、秋晴れの下、「芸術の秋」や「読書の秋」で心を満たし、「実りの秋」や「スポーツの秋」で体を活性化させることを大人も子どもも一緒になってぜひ楽しみたいものです。

ここで、スポーツの秋にちなみ、「デンマークサッカー協会10カ条」について紹介させていただきます。教育や子育て等にも参考となるものと思います。

- ①子どもたちはあなたのモノではない。
- ②子どもたちはサッカーに夢中だ。
- ③子どもたちはあなたとともにサッカー人生を歩んでいる。
- ④子どもたちから求められることはあってもあなたから求めてはいけない。
- ⑤あなたの欲望を子どもたちを介して満たしてはならない。
- ⑥アドバイスはしてもあなたの考えを押し付けてはいけない。
- ⑦子どもの体を守る。しかし子どもたちの魂まで踏み込んではいけない。
- ⑧コーチは子どもの心になること。しかし子どもたちに大人のサッカーをさせてはいけない。
- ⑨コーチが子どもたちのサッカー人生をサポートすることは大切だ。しかし、自分で考えさせることが必要だ。
- ⑩コーチは子どもを教え導くことはできる。しかし、勝つことが大切か否かを決めるのは子どもたち自身だ。



後期に入り、生徒会役員選挙を終え、新体制での生徒会がスタートしました。また立会演説会では、すべての立候補者から上中への熱い愛が感じられました。目指すのは、「心の豊かな生徒：礼儀正しく豊かな心を持ち、互いに協力し合う生徒」です。ぜひ後期も生徒のみなさんと先生方、そして保護者・地域のみなさんも一丸となって、よりよい上磯中学校を目指していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

進路実現を目指して

10月23日(木)から3年生は、「進路相談会」を行いました。また、2年生は10月27日(月)、28日(火)に私立・高専・公立高校の先生方に来校していただき、高校説明会を行いました。

2・3年生はこれらをもふまえて、11月25日(火)から三者面談を行います。1年生も同期間に教育相談を行います。

各高校の先生方は皆、「自分の好きなこと・やりたいこと」をもとに志望校を決めてほしい、とおっしゃっていました。教育相談、三者面談ともに有意義な時間にしてほしいと思います。



渡島英語暗唱大会

10月17日(金)に北斗市農業振興センターで開催された渡島中学校英語暗唱大会に本校から3名の生徒が出場しました。この大会では、英語を読む力(暗唱)について、発音や表現力、態度をトータルして審査します。大会に出場した3名の生徒は、夏休み明けから約2か月間、課題となる教科書本文の暗唱を練習し、当日の本番に臨みました。



3年生からは対馬理仁さん(3年1組)と竹内怜さん(3年2組)の2名が、史上最年少でノー

ベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんのスピーチ『Malala Yousafzai: Education First』をそれぞれ発表しました。スピーチは400語以上にも及び長文であり、暗唱には決して簡単ではない題材でしたが、2名ともミスなく最後まで発表することができました。学校祭での発表からさらにレベルアップし、一人ひとり堂々としたパフォーマンスを見せることができました。

2年生の四淵茉奈夏さん(2年1組)は、『A Glass of Milk』という物語の暗唱を発表しました。四淵さんは物語の内容を理解し、聴衆に語りかけるように発表し、役になりきって堂々と演じることができました。その結果、3年生の出場者が多い中で見事4位入賞を果たしました。練習ではALTの先生方の協力をいただき、生



徒は自分の良さや練習の成果を発揮し、自信をもって発表することができました。

審査員から「自信をもつことは発音や表現などすべてのパフォーマンスの向上につながる」と講評をいただきました。歴史ある渡島英語暗唱大会の事業は今年度をもって終了となりますが、3名にとって貴重な経験となりました。



文化庁芸術家派遣事業

10月21日(火)~23日(木)に、文化庁の芸術家の派遣事業として、「木管五重奏とピアノによるスペシャルコンサート」が行われました。木管五重奏は、フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・ホルンで、そこにピアノを加えた6名による素晴らしい演奏を聴く機会をいただきました。

誰でも一度は聞いたことのあるヘンデル作曲の「水上の音楽」はとても優雅な音楽でした。

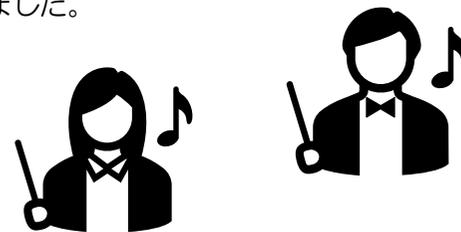
楽器紹介では個性あふれる演奏やパフォーマンスで生徒たちの目は釘付けでした。身近にあるホースやR1のボトルも楽器に早変わり。楽器の構造をとて

も分かりやすく教えていただきました。

代表生徒の指揮者体験では『さんぽ』を演奏してくださいました。どんな速さ・表現でも見事に対応したプロ奏者に拍手喝采。指揮者には燕尾服を貸していただき、気持ちよさそうにタクト(のつもりもの)を振っていました。

プログラム最後のリスト作曲の「ハンガリー狂詩曲2番」では、有名なトムとジェリーの映像に合わせて演奏を披露し、音楽と映像が融合したとても楽しいパフォーマンスでした。

アンコールでは上磯中学校の校歌をオリジナルアレンジで披露し、木管五重奏ならではの柔らかい音色と力強いサウンドで、聴いていた生徒たちは皆、目を輝かせていました。



学校ホームページもぜひご覧ください。

北斗市のホームページ

→「子育て・教育」→「学校・教育」

検索

次のURL 又は、QRコード、
北斗市のホームページよりご覧いただけます。

<https://hokuto.ed.jp/kamityu/>

